

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

UNITE
FOR
GOOD



よいことのために手をとりにあおう

第1723回例会 令和8年3月26日(木)

【会長の時間】 畝 徳治

皆さん、こんばんは。まず読んでみます。シテさんが謡いだすと、内容的には続きを地の人が続きます。

シテ「月落ち鳥啼いて

地「霜天に満ちて冷しく江村の漁火もほのかに半夜の鐘の響きは。客の船にや、通ふらん蓬窓雨滴りて馴れし汐路の楫枕。浮寝ぞかわる此の海は。波風も静かにて。秋の夜すがら月澄む三井寺の、鐘ぞさやけき

子方「いかに申すべき事の候

ワキ「何事にて候ぞ

子方「これなる物狂の國里を問うて給はり候へ

ワキ「これは思ひも寄らぬ事を承り候ものかな。さりながら易き間の事尋ねてまいらせうずるにて候。」いかにこれなる狂女。おことの國里は何処の者にてあるぞ

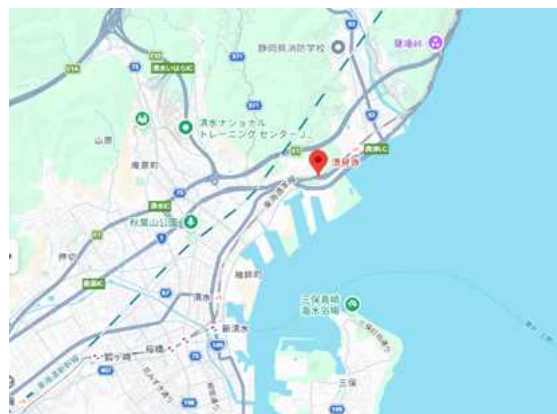
シテ「これは駿河の國清見が関の者にて候

子方「なになう清見が関の者と申し候か

シテ「あら不思議や。今のもの仰せられつは。正しく我が子の千満殿ごさめれあら珍しや候

ここで海と言っているのは、琵琶湖を指しています。静かな雰囲気を感じています。登場人物の子供が、あの人はもしかしたらと母親だと気づきます。子方とワキの界限があります。いかに申すべきことと前置きで、言いたいことがあるとの声かけです。いかにもうすべき事の候に対して、聞きたい事をお願いしますと。もしかしたら自分の親かもしれないので、出身地を聞いてくださいと。シテの言葉を聞いて、子方が自分が考えていた通りだなど。その声を聞いて、子供が見つかったとを感じるわけです。

清見が関は、静岡県ですが、三保の松原がある羽衣伝説のある三保と富士山の間くらいにあって、ここの出身の人が子供を亡くして、京都の清水寺に行って、祈って、そこのお告げで滋賀県の三井寺に行くと。この時代としては、長距離の旅をしながら子供を探しているという事が分かります。



【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所より月信3月号号
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま
今週の土曜日にPELSに行ってきます。



板谷会員奥様

由美子さん

お誕生日おめでとうございます

ニコニコボックス

♪年度末のお忙しい中ですが、今年度もお世話になります。 小埜 和也

合計 2,000 円

出席率 50.0%



板谷定美会員



山田利明会員

